

サイクリングロードの整備について



櫻井 潤一郎 議員

質問.. 卷川サイクリングロードの管理状況について伺います。

答弁.. 奥沢地内から蛭田地内までの総延長8.1キロメートルの区間を舗装の損傷などで苦情が寄せられた箇所については随時対応していますが、路肩の草刈りなどは地元の皆様に自主的に実施していただいています。

質問.. 舗装のつなぎ目の草が生えている部分、一部舗装が割れているところ、車とかが入れないような柵を入れるためのパイプが高く危ないところの補修について伺います。

答弁.. 支柱が折れてしまつて危険なところは、業者に発注して、準備ができ次第対応します。舗装の草に関しては、舗装の作業のほうで対応する予定です。

質問.. 卷川サイクリングロードの利用状況について伺います。

答弁.. 昨年開催された「おおたわら丘ポタ」でコースの一部として利用されたり、時折り、個人で走行している姿を見かける程度です。

質問.. 新たなサイクリングロードの整備計画について伺います。

答弁.. 安全に走行可能な自転車専用道路の有用性は十分認識していますが、現在のところ新たに整備する計画はありません。

一般質問



菊地 英樹 議員

「ゼロカーボンシティ」の取り組みについて

質問..ゼロカーボンシティ宣言後にどのような取り組みを具体的に進めていくのか伺います。

答弁.. 現在行われている広域クリーンセンター大田原の基幹的設備改良工事では、ごみの焼却熱を利用した発電設備を設置し、年内に稼働する予定となつていきます。生活ごみ全般が今までは湯気と煙に変わっていたわけですが、電力に変換をするという

ことでかなりゼロカーボンシティの貢献度は、市民の皆様から出るごみがそれら全て処理されて電力に変わるということですから、大きく貢献するものと思つていきます。発電量の出力は、

毎時1400キロワットとなつており、発電した電力は自家消費することとなるため、温室効果ガスの削減に一定の効果が見待されます。また、紙、布類や

食品残渣などの生ごみを焼却処理する工程で発生する蒸気を利用する発電となることから、廃棄物からの熱エネルギーを回収するサーマルリサイクルとしての性質を有し、循環型社会の形成に資するものともなつてい

ます。なお、自家消費し切れない余剰電力につきましては、売電も想定しており、現在東京電力と協議中です。